



ロータリーの未来は
あなたの手の中に

地区テーマ
地域にやさしさを
ロータリーに活力を

本クラブテーマ
平常心でロータリーを

国際ロータリー第2800地区 鶴岡ロータリークラブ

第2468回(本年度第8回)例会 2009.9.1

- 例会日/毎週火曜日(12:30~13:30)
- 例会場/東京第一ホテル鶴岡
鶴岡市錦町 2-10 Tel. 0235-24-7611

クラブホームページアドレス <http://www.tsuruokarc.org/>

会長報告

富樫松夫

- 9月1日 第3回の理事会が開催されました。
- 8月25日 ゲストのフルート奏者佐藤真樹さんを迎えて、だだちゃ豆家族例会が開催されました。会員、家族、RACのメンバー合わせて35名の参加。樋渡直前会長の練習から2ヶ月位でフルートの音色を聴くことが出来た事に感謝します。
- 8月31日 第2ブロック 会員増強・会員維持セミナーがグランドエル・サンで開催され、幹事の阿部純次君、青柳孝治君、牧衛君、樫野隆博君、菅原亨君、早寄弘君、小林健郎君、私の8名が参加致しました。大変ご苦労様でした。

京都議定書について

京都議定書は、地球温暖化を防止するための国際的な枠組みとなる取り決めとして、1997年12月に京都で開かれた「気候変動枠組条約第3回締結国会議(COP3)」で採択された。

京都議定書は、先進国などに対して2008年から2012年の間に、6種類の温室効果ガスの排出量を、基準年(1990年)比で一定数値削減することを義務づけた画期的なもの。主要国の削減率は、日本6%、米国7%、EU8%、カナダ6%、ロシア0%等で、全体で5.2%の削減を目指す。これらの削減目標には法的な拘束力があり、また、国際的に協調して目標を達成するために、1)温室効果ガスの排出量取引、または、2)クリーン開発メカニズム(CDM)、3)共同実施(JI)を柱とする「京都メカニズム」や、森林吸収源などの新たな制度や仕組みが導入された。ここでよく目にするチームマイナス6%というのはこの削減目標を達成するための取組み目標標語に

なっている。

京都議定書には日本やEUなど125カ国が批准したが、2001年に米国のブッシュ政権が離脱。京都議定書が発効するためには、批准した先進国のCO₂の排出量が1990年時点の55%以上なければならないため、発効されない状態が続いた。しかし、ロシアが2004年11月に批准したことによって、米国抜きでもCO₂の排出量が61%を超えることになり、2005年2月16日に京都議定書が発効した。

日本では、京都議定書の採択を受けて地球温暖化対策推進法が1998年に成立。2002年には日本の同議定書締結に伴い、同法の改正により京都議定書目標達成計画が策定されたほか、地球温暖化対策推進大綱が定められた。

京都議定書の第1約束期間は2012年までのため、2013年以降の第2約束期間における国際的な枠組みに関する議論が続けられており、この枠組みをポスト京都議定書(ポスト京都)という。ポスト京都のあり方は、2009年12月にデンマークのコペンハーゲンで開催されるCOP15で決められることになっていて、離脱している米国のオバマ政権は新たな枠組みの構築に意欲的であると伝えられているが、今年6月にドイツのボンで行われた準備会合では先進国と新興・途上国が強く対立。調整は難航しそうな気配の様である。

幹事報告

阿部純次

○米山梅吉記念館

米山梅吉記念館創立40周年記念式典のご案内

日時: 9月19日(土) 受付12:40~

場所: 米山梅吉記念館

9月は… 新世代の為の月間



出席報告	会員数	42名
	出席	30名
	出席率	78.95%
	前々回確定出席率	84.21%

- R | 会長/ジョン・ケニー ■ 地区ガバナー/佐藤豊彦 ■ 会長/富樫松夫
- 会長エレクト/佐藤孝子 ■ 副会長/青柳孝治 ■ 幹事/阿部純次 ■ 会報委員会/樫野隆博・石田 雄

事務局: 鶴岡市馬場町11-63 鶴岡産業会館3階 TEL (0235)28-3375 FAX (0235)28-3376
E-mail: tsuruoka08@rid2800.jp

